



ヤングアダルト

YA本研究会だより 2019.8Vol.2

トピック

7月に予定していた委員会が台風🌀で延期になり、8月に入ってやっと開催することができました。所属の部活が地区大会を勝ち抜いて来れなくなったり、東京に学校の代表で行く委員がいたり、受験生もいる。それぞれ忙しい中、時間をやり繰りしての楽しいひとときでした。秋の企画の相談もあり、過密スケジュールでしたが、みんなパワフルで、企画については乞うご期待！今回初参加の中学生2人も、「楽しかった～」と笑顔。ニ★コ★ニ★コ。

委員会の3日後、図書館裏の蒸し風呂のような閉架書庫の整理も図書館員の仕事体験として手伝ってくれました。汗、キ★ラ★キ★ラ★

ビブリオバトル

新メンバーで初めてのビブリオバトル。🍎どれもこれも読みたい人気の本が勢ぞろい。案の定、票が割れて、チャンプ本がナント3冊に！残念ながら票が入らなかった本も王道あり、妖怪あり(夏の常連)、社会派ありで、どれも落としたくない。グググー……ジレンマ。どーすいっしょのサ。まだまだ、みんな余力ありますよというドヤ顔にフレッシュを感じるのは私だけか……。 (⇒この気持ちが次回特集のテーマとなる) ゲストの図書館ニューフェイス、男性司書Hくんも「楽しそうでいいっすね。」とコメントしてくれました。

チャンプ本

以下の3冊です！



『かがみの孤城』(ポプラ社)辻村 深月/著 2017.5

Fツ 本館・二丈館・志摩館

<内容>

いじめが原因で登校拒否になった主人公。ある日、鏡が光り、その向こうの世界にひきこまれ、新たな出会いが……。

<オススメのポイント>

ミステリー調で話はすすみ、どんどん引き込まれます。そして最後の場面に感動すること間違いなしです。

「ただいまの神様」(KADOKAWA)鈴森 丹子/著 2017.1

Fス 二丈館

<内容>

結の姉に彼氏ができたらしく、それがダメ男。すると狸が荷物のあいだから出てきて相談にのってくれる。

<オススメのポイント>

狸のゴザル言葉がなんともかわいいんです。しかもマヨラー。ただそばにいてくれさえすればいい。そんな存在なんです。中学生高校生ともに、大好き。

『いまはむかし 竹取異聞』(ポプラ社)安澄 加奈/著 2011. 10

Fア 志摩館

<内容>

家出した弥吹という青年を中心に、5つの宝をさがしにゆくという、竹取物語を大胆に解釈したファンタジー作品

<オススメのポイント>

弥吹という青年がまだ子どもの頃の言い争いがとても楽しい!

<その他紹介された本>

「一鬼夜行」・「西の魔女が死んだ」・「部長会議はじまります」

「うみべのまちで」「顔ニモマケス」

■夏のYA新着本(児童書・一般書含む) 貸出中の本は予約もできますよ。



「親愛なるナイチンゲール様」あなたが弱気ものと共にあったように

著者 川嶋みどり 出版社合同出版 2019.6



「魔法科高校の劣等生 29

著者 佐島 勤 出版社 KADOKAWA」

次回の展示テーマは、「ジレンマ」です。